

## 現地を訪問して思うこと

B：宮城県コース

平成 18 年 経済学部卒 山口統也

復興支援委員の一人として、今回宮城県コースのコーディネーターという立場で参加させて頂きました。

震災後の宮城県に訪れるのはこれが 2 回目でした。

今回このツアーにおいて一番驚いたことは、ツアーの参加者が年代・地域を問わずたくさんいたことです。震災から 1 年半が過ぎ、私自身震災に対する関心が震災直後に比べて薄れていて「このツアーに対して関心は集まるのだろうか」と思う部分が正直なところ少しあったからです。

しかし参加者の皆様は、震災から 1 年半が過ぎたにも関わらずみな被災地に対して関心を持ち続け、ご自身の目で見たいという方ばかりでした。

私達が被災地、被災者に対してできることの一つとして、この「関心を持ち続けること」が重要なことの一つであると感じました。

このツアーに参加された方々が、今回のツアーで感じたこと、聞いたことを帰ってからご家族や友人、職場などで話し、みんなが被災地のことを思い、忘れないようにしていくことが被災地への継続的な復興支援に繋がっていくことになると思います。

私自身もそれを意識しながら日々を過ごすようにしようと考えるようになりました。

末筆となりますが、貴重なお話をお聞かせ頂いた現地の校友の皆様には感謝致します。

以上